

鳥取大学大学院連合農学研究科学位論文提出の手引

1. 提出資格

(1) 課程博士の場合

- ① 本研究科に2年8ヶ月以上(本研究科入学前に他研究科において修得した単位を本研究科において修得したものとみなし、本研究科が定める期間在学したものとみなされる者においては、在学したものとみなされた期間をこれに含む。)在学し、必修科目11単位を含む合計14単位以上を修得し、又は修得見込で、かつ、必要な研究指導を受けた者。
 - ② 本研究科に1年8ヶ月以上在学し、必修科目11単位を含む合計14単位以上を修得し、又は修得見込で、かつ、必要な研究指導を受け、特に優れた研究業績をあげ主指導教員が推薦した者
 - ③ 本研究科に3年以上在学し、必修科目11単位を含む合計14単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けて退学した者のうち、退学の日から3年以内の者
- 上記①、②、③の提出資格のほか、学位論文の基礎となる学会誌等に発表された和文又は英文による学術論文(以下「基礎論文」という。)を2編以上有しなければならない。
- (ア) 基礎論文が共著論文の場合においては、申請者が筆頭著者であり、かつ、共著者が過去において、いずれの大学に対しても学位論文として申請していないものに限る。
- (イ) 本研究科に入学するまでの2年間のうちに発表された学術論文(学位論文の一部を構成するものに限る)は、基礎論文の1つに含むことができる。
- (ウ) 複数筆頭著者の学術論文(学位論文の一部を構成するものに限る)は、理由書(任意様式)を提出し、代議委員会での承認を得ることで、基礎論文の1つに含むことができる。ここで、複数筆頭著者の学術論文における筆頭著者数及び申請者の著者順番に制約はない。

【認められる学術論文のパターン】

パターン	入学前2か年	入学後	学位申請の可否
①		単・単	○
②	単 (学位論文の一部を構成するもの)	単	○
③		単・複(理由書)	○
④	複(理由書)	単	○
⑤	単	複	×
⑥	複	複	×

単:単独筆頭著者論文

複:複数筆頭著者論文

※基礎論文における学位申請者の所属機関は、連合農学研究科であること

(2) 論文博士の場合

本研究科の学位申請資格審査に合格した者(資格審査の申請基準は別表のとおり)

上記の提出資格のほか、学位論文の基礎となる学会誌等に発表された和文又は英文による学術論文(共著論文の場合は、申請者が筆頭著者であること。)を原則として4編以上有する必要がある。ここで、複数筆頭著者の学術論文は含めることができない。

2. 提出時期

- (1) 標準修業年限内に学位を取得しようとする者は、最終年次の研究科長の指定する日(6月中旬または12月中旬)までに提出すること。

- (2) 標準修業年限を超えて在学する者, 1(1)②, ③該当者及び論文博士の場合は, 随時提出できる。
- (3) 随時提出の場合も, 学位が授与されるのは, 年 2 回(9 月と 3 月)であり, その期の学位授与日の授与には, 当該期の研究科長の指定する日までに提出すること。また 1(1)②該当者の受理には事前に予備審査会を実施し承認を得ておく必要があるため余裕をもって提出すること。
- (4) 研究科長の指定する日以降に論文を提出し, 学年末又は学期末に退学した者については, 合否判定は次の期の研究科委員会で行い, 退学の日にさかのぼって課程修了を認定する。

3. 提出書類等

(1) 課程博士の場合

- | | |
|---|----------|
| ① 学位申請書(様式第 1 号の 1) | 1 部 |
| ② 論文目録(様式第 2 号。参考論文がある場合は参考論文目録も添付。) | 1 部 |
| ③ 学位論文(和文又は英文、電子ファイル(pdf 形式)) | |
| ④ 学位論文要旨(様式第 3 号:和文 2,000 字又は英文 1,200 語程度で記載し A4 版 2 枚におさめること。) | 1 部 |
| ⑤ 学位論文の基礎となる学会誌等に発表された学術論文及び参考論文 | 各 1 部 |
| ⑥ 履歴書(様式第 4 号) | 1 部 |
| ⑦ 学位論文の基礎となる学術論文が公表予定の場合は, 公表することを予定した掲載承諾書又は出版契約書 | 各 1 部 |
| ⑧ 学術論文が共著の場合は, 共著論文研究要旨(様式第 5 号) | 各 1 部 |
| ⑨ 共著者の承諾書(様式第 6 号) | 各 1 部 |
| ⑩ 博士学位論文のインターネット公表に関する届出書(様式第 15 号) | 1 部 |
| ⑪ インターネットにより全文公表できない場合, 博士学位論文の公表にかかる申立書(様式第 12 号) | 1 部 |
| ⑫ ②④⑥⑧の電子ファイル(Word 形式)及び⑤の電子ファイル(pdf 形式) | |
| ⑬ 学位論文審査手数料(1(1)③該当者のうち退学の日から 1 年を経過した者のみ) | 57,000 円 |

※ 課程博士の学位論文提出時において, 学位論文の基礎となる学術論文の掲載承諾書が提出できない場合は, 投稿したことの証明書を提出し, 公表された又は公表予定となったことが分かる書類を公開審査会開催日 2 日前(休日を除く)の 17 時までに提出すること。

(2) 論文博士の場合

- | | |
|----------------------------------|----------|
| ① 学位申請書(別紙様式第 1 号の 2) | 1 部 |
| ②～⑫ 課程博士と同様の書類 | |
| ⑬ 最終学校の卒業証明書 | 1 部 |
| ⑭ 研究歴証明書(様式第 7 号) | 各 1 部 |
| ⑮ 主指導教員となり得る教員(以下「推薦教員」という。)の推薦状 | 1 部 |
| ⑯ 外国語受験科目届(様式第 8 号) | 1 部 |
| ⑰ 学位論文審査手数料 | 57,000 円 |

4. 提出方法

- (1) 鳥取大学農学部連大学務係に直接持参するか, 又は郵送により提出すること。
- (2) 論文審査手数料は, 学長が論文の受理を決定した日に, 鳥取大学農学部連大総務係へ納付すること。
- (3) 論文提出に際しては, 主指導教員(論文博士の場合は推薦教員)の承諾を必ず得ておくこと。

5. 学位論文, 学位論文要旨, 学位論文の基礎となる学術論文の作成要領

(1) 学位論文

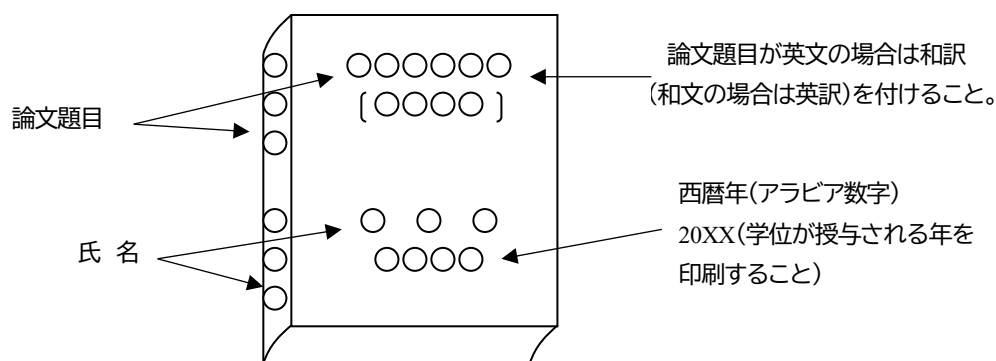
- ① A4 判洋白紙に左横書きで作成(Word 形式等)したものを pdf データで提出すること。

- ② 論文が和文の場合には、表紙に和文題目と共に英文題目を、また、英文の場合には、表紙に英文題目と共に和文題目をカッコ書きで記入すること。
- ③ 表紙には氏名及び学位が授与される年(西暦)を記入すること。
- ④ 論文の最後に和文・英文両方の摘要をつけること。
- ⑤ 学位論文の基礎となる学会誌公表論文のリストを巻末に付すこと。
この場合、学会誌公表論文が学位論文のどの部分(第何章)かを明記すること。
- ⑥ 写真はプリントしたもの又はカラーコピーを用いる。
- ⑦ 学位授与の日から1年以内に博士学位論文の全文をインターネット公表しないことが認められた場合は、審査に合格した後に本製本したものを学位記授与式の1週間前までに1部提出すること。本製本の体裁は次の様式とする。

表紙:色・紙質は指定なし

文字:黒文字

寸法:縦 30cm, 横 21cm(A4 判)



※ 学位論文を本製本する際の表紙は上記のとおりにしてください。

(2) 学位論文要旨

- ① 本研究科所定の用紙に印刷(Word 形式)したものとする。
- ② 図表, 化学記号等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写すること。

(3) 学位論文の基礎となる学術論文及び参考論文

- ① 学術論文は、申請者が鳥取大学大学院連合農学研究科に入学後に、博士論文のテーマに関連して学会誌に発表した論文で、原則として申請者がその論文の筆頭著者となっているもの。

上記の学術論文は公表したもの又は公表予定のものとし、公表予定の場合は公表することを予定した掲載証明書又は出版契約書を添付する。(公表予定のものは、公表後別刷1部を鳥取大学農学部連大学務係へ提出する。)

課程博士の学位論文提出時において、学位論文の基礎となる学術論文の掲載承諾書が提出できない場合は、投稿したことの証明書を提出し、公表された又は公表予定となったことが分かる書類を公開審査会開催日2日前(休日を除く)の17時まで提出すること。

なお、学位論文申請が受理された後の学位論文の基礎となる学術論文の投稿先の変更は一切認めないものとする。

- ② 上記学術論文のうち、共著のものについては、申請者が共同研究において主たる役割を努め、かつ、共著者が過去において、いずれの大学に対しても学位論文として申請をしていないものとする。

6. 審査, 最終試験及び学力確認

鳥取大学大学院連合農学研究科学位論文審査基準の評価項目のすべてを満たすものを学位論文として認める。審査は, 原則として主査(主指導教員又は推薦教員)が所属する構成大学で学位論文の内容について公開の発表により行う。試験日時, 場所等は, 連合農学研究科 HP にて公表する。

(1) 課程博士の場合

- ① 学位論文を中心として, これに関連する科目について口頭又は筆答により行う。

(2) 論文博士の場合

- ① 専攻学術に関し, 博士課程を修了して学位を授与される者と同等以上の広い学識を有することを確認するため, 学術論文を中心としてこれ等に関連のある科目について, 口頭又は筆答により試問を行う。この場合において, 外国語については筆答により1種類を課するものとする。

7. 論文審査及び最終試験に合格した後の論文提出等

論文審査会及び最終試験後に学位論文を修正した場合は, 学位記授与式の1週間前までに学位論文の全文(PDF形式)を提出する。また学位授与の日から1年以内に学位論文の全文をインターネット公表しないことを認められた場合は本製本した学位論文1部を提出する。

なお, 学位授与日から3月以内に公表する学位論文要旨で, 都合により一部を割愛したものとすることは, 学位論文要旨(様式第13号:Word形式)を併せて提出する。

また, やむを得ない事由が認められ学位論文要約を公表する場合は, 学位論文要約(様式第14号:PDF形式)を併せて提出する。

別表

学 歴 区 分	研 究 歴
農学系の大学院修士課程を修了した者	5 年以上
農学系の大学教育課程を卒業した者	8 年以上
農学系以外の大学又は大学院教育課程を卒業又は修了した者	9 年以上
短期大学又は高等専門学校を卒業した者	12 年以上
高等学校を卒業した者	15 年以上
上記以外の者は研究科委員会で決定する。	

備考

研究歴は, 次の各号の一に該当するものとし, 各項の期間を通算する。

- (1) 大学の農学系の学部等の専任職員として研究に従事した期間
- (2) 大学院の農学系研究科に在学し, 退学した者は, その在学した期間
- (3) 大学の農学系専攻科(全日制の研究生, 専攻生を含む。)に在学した者は, その在学した期間
- (4) 日本又は外国政府所轄の農学系試験研究機関に専任職員として勤務した者は, その勤務した期間
- (5) その他研究科委員会が, 前各号と同等以上と認める履歴があれば, その期間

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

Guide for submitting a Doctoral dissertation

I Requirements for submitting a dissertation

(1) Course Doctoral

- ① Students who have studied for 2 years and 8 months or over in UGSAS (For those who are deemed to have earned credits at other graduate schools prior to enrollment in UGSAS, and who are deemed to have enrolled in this graduate school for a period of time determined by UGSAS, the period of time for which they are deemed to have enrolled in UGSAS will be included.) under tuition for the doctor's program and get more than 14 credits.
- ② Students who have studied more than 1 year and 8 months and achieve very high standards in their research activities and are recommended by their major supervisors.
- ③ Applicants who had left UGSAS with completion of three or more years in UGSAS and obtainment of at least 14 credits including 11 credits of required subjects under necessary supervision. Doctoral dissertation application must be submitted within three years from the date of having left UGSAS.

In addition to the qualifications for submission in ①, ② and ③ above, the applicant must have two or more academic papers related to the doctoral dissertation in Japanese or English published in academic journals issued by the professional societies.

- a) If the academic paper is a co-authored paper, the applicant must be a first author and the co-author(s) must not have applied for the doctoral dissertation to any university in the past.
- b) The Academic papers can include one that was published two years before entering the UGSAS, but it is limited to one that forms part of a dissertation.
- c) The Academic papers may include one with equally contributed authors by submitting a statement of reasons (optional form) and obtaining approval from the Graduate School Committee, but it is limited to that which forms part of a dissertation. Here, there are no restrictions on the number of first authors or the order of authorship of the applicants in academic papers with equally contributed authors.

【Patterns of Academic Papers acceptable for the Doctoral dissertation application】

Patterns	Two years before entering the UGSAS	After enrollment	Application for Doctoral dissertation
①		Single ・ Single	Acceptable
②	Single (one which forms part of a dissertation)	Single	Acceptable
③		Single ・ Equally contributed (should submit the state of the reason)	Acceptable
④	Equally contributed (should submit the state of the reason)	Single	Acceptable
⑤	Single	Equally contributed	NOT acceptable
⑥	Equally contributed	Equally contributed	NOT acceptable

Single: Academic paper with a first author

Equally contributed: Academic paper with Equally contributed authors

※The applicant's affiliation in the academic paper should be the United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University.

(2) Dissertation Doctorate

Passing the doctoral degree application qualification assessment. (See Appendix for qualification assessment application criteria.)

In lieu of above, at least four publications closely related to their PhD dissertation in peer-reviewed, academic journals in Japanese or English. These can not include academic papers with equally contributed authors.

II Submission period

- (1) Students who intend to obtain a Doctor's Degree within the years required for completing their course of study (3 years) :

Applicants should submit their dissertation before the middle of December for April admission (the middle of June for October admission) of the third year of UGSAS.

- (2) Students who are studying over three years, those who are qualified for I(1)②, ③, or applicants for Dissertation Doctorate :

Applications can be submitted at any time, though, doctoral degrees shall be conferred twice a year, in September and March. Please be sure to submit documents for application by the specified date. Please note that those who are qualified for I(1)② should pass the preliminary review board.

- (3) Students who drop out UGSAS after they submit their dissertation :

Dissertation result shall be decided at the next General Academic Staff Meeting and their completion will be dated back to their leaving date.

III Documents to submit

(1) Course Doctoral

- | | |
|--|-------------|
| ① Application for doctoral degree (Form No. 1-1) | 1 copy |
| ② List of publications (Form No. 2, also of sub publications) | 1 copy |
| ③ Doctoral dissertation (in Japanese or in English, in pdf format) | |
| ④ Summary of doctoral dissertation
(Form No. 3: About 2,000 characters in Japanese or about 1,200 words in English
in 2 A4 papers. | 1 copy |
| ⑤ Articles related to the doctoral dissertation published in academic
journals, and other articles that serve as references. | Each 1 copy |
| ⑥ Curriculum vitae (Form No. 4) | 1 copy |
| ⑦ If papers related to the dissertation have not yet been published,
submit official letters confirming that the articles will be
published or the publisher's contract. | Each 1 copy |
| ⑧ If papers related to the dissertation have co-authors, summaries
of joint-worked publication (Form No.5) | Each 1 copy |
| ⑨ Agreement (extent undertaken by the applicant letters of consent
from co-authors) (Form No. 6) | Each 1 copy |
| ⑩ Notification Form of Internet Publication of Doctoral Dissertation (Form No. 15) | 1 copy |
| ⑪ If the full text cannot be published through the Internet,
application for publication of doctoral dissertation (Form No. 12) | 1 copy |
| ⑫ Electronic File of ②, ④, ⑥, ⑧(in MS Word format) and ⑤ (in pdf format) | |
| ⑬ Examination Fee : Only for the applicants who apply to 1(1)③
and not exceed one year after having left UGSAS | 57,000 yen |

※ If the applicant is unable to submit a letter of acceptance for publication of the academic paper at the time of application for the doctoral degree, the applicant must submit a certificate of submission showing that the paper has been or will be published, by 17:00 on the two days before the date of the dissertation defense (excluding holidays).

(2) Dissertation Doctorate

- | | |
|---|-------------|
| ① Application for doctoral degree (Form No. 1-2) | 1 copy |
| ②~⑫ Same as (1)Course Doctoral | |
| ⑬ Certificate of Final School Graduated | 1 copy |
| ⑭ Certificate of Research History (Form No. 7) | Each 1 copy |
| ⑮ Recommendation from a Major-Supervisor | 1 copy |
| ⑯ Proposal for the examination of foreign language (Form No. 8) | 1 copy |
| ⑰ Examination Fee | 57,000 yen |

IV Submission procedures

- (1) All documents should be submitted in person or by mail to the Academic Affairs Section of the United

Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University.

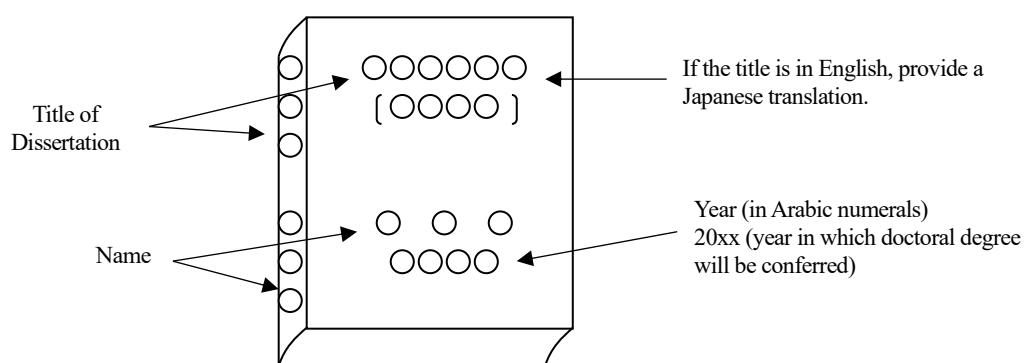
- (2) Payment of examination fee should be cleared on the day whose application was approved by the President of Tottori University.
- (3) Students intending to submit dissertation must consult with and obtain the permission of the major - supervisor first.

V Guidelines for doctoral dissertation, Summary of doctoral dissertation, and related papers

(1) Doctoral dissertation

- ①The dissertation should be prepared on A4 size and submitted in pdf format.
- ②If the dissertation is written in Japanese, the Japanese title on the front cover should be followed by an English title in parentheses. If the dissertation is written in English, the English title on the front cover should be followed by a Japanese title in parentheses.
- ③The cover must also have the name of the author and the year of the final submission of the dissertation.
- ④English and Japanese summaries should be provided on the last page of the dissertation.
- ⑤The list of papers published related to the dissertation should be appended. Clearly indicate the section of the dissertation (which chapter) that relates to the published articles.
- ⑥Photographs should be reproduced in color in all copies of the bound dissertation.
- ⑦If the UGSAS approves the request not to publish the full text on the Internet within a year after the date of conferment of a doctoral degree, after passing the dissertation defense, one bound-cover dissertation must be submitted at least one week before the doctorate conferment ceremony and they should meet the following requirements.

Color and kind of cover paper:	Not specified
Font color:	Black
Size:	30cm(long)×21cm(wide) (standard A4 size paper)



※ Please ensure that the front cover of your dissertation should be in the format shown above.

(2) Summary of dissertation

- ①The summary should be printed on the form provided by the UGSAS (in MS Word format).
- ②Figures or chemical symbols should be clearly printed or copied.

(3) Papers related to dissertation

①Related papers are publications in academic journals that are related to the theme of the dissertation and they should be accepted after the applicants' entrance of UGSAS. In principle, the candidate should be the first author of these publications.

The related papers should already have been published or should have been accepted for publication. For articles not yet published, official letters confirming that the articles will be published, or a publisher's contract should be attached. (For articles not yet published, one reprint of each article should be submitted to the UGSAS after publication.)

If the applicant is unable to submit a letter of acceptance for publication of the academic paper at the time of application for the doctoral degree, the applicant must submit a certificate of submission showing that the paper has been or will be published, by 17:00 on the two days before the date of the dissertation

defense (excluding holidays).

②For related papers published with co-authors, the applicant must have had a major role in the research, and the publications must not have previously been submitted to any university for the purposes of obtaining an academic degree by any of the co-authors.

VI Dissertation Defense

Only doctoral dissertation that satisfy all of the evaluation items of ‘Doctoral Dissertation Defense Criteria for the United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University’ can be accepted as dissertations.

In principle, the defense should be an open oral examination related to the content of the dissertation, held at the participating university to which major supervisor is affiliated.

Candidates will be informed the date and time of the defense on the website of the UGSAS.

(1) Course Doctoral

An oral or written examination related to the dissertation should be carried out to ascertain that the candidate has a wide knowledge.

(2) Dissertation Doctorate

An oral or written examination should be carried out to ascertain that the candidate has a wide knowledge of the specialized field, equal to or exceeding the level of students who obtain the doctoral degree after completing the doctoral course. Content of this examination should cover subjects related to the content of the dissertation. In this case, candidates should also prove proficiency in one foreign language (by describing method).

VII Submission of dissertation after dissertation and final examinations

If the doctoral dissertation is revised after the dissertation defense, the full text of the doctoral dissertation (in PDF format) should be submitted. If the UGSAS approves the request not to publish the full text on the Internet within a year after the date of conferment of a doctoral degree, the bound-covered PhD dissertation should be submitted to the UGSAS, at least one week before the doctoral degree conferment ceremony.

In addition, if the summary of the doctoral dissertation is published within three months after the date of conferment of a doctoral degree and part thereof is omitted for certain reasons, the summary of the doctoral dissertation (Form No. 13; in MS Word format) should also be submitted.

In addition, if the abstract of the doctoral dissertation (Form No. 14; in PDF format) is published under unavoidable circumstances, the abstract of the doctoral dissertation (Form No. 14; in PDF format) should also be submitted.

(Appendix)

Educational experience	Research experience
Completion of a Master’s degree course at an agricultural university	5 years or more
Graduation from an undergraduate university course specializing in agriculture	8 years or more
Graduation from or completion of a university undergraduate or postgraduate course in a field other than agriculture	9 years or more
Graduation from junior college or college of technology	12 years or more
Graduation from senior high school	15 years or more
Applicants who cannot categorized above will be assessed on individually at the Graduate School Committee.	

Notes

Research experience is classified in the following terms, with the sum of all categories being the total research period.

(1) Period spent conducting research as a full-time faculty member of an agriculture department or school of a university.

- (2) Period spent enrolled in a graduate school specializing in agriculture.
- (3) Period spent in a university graduate department specializing in agriculture (e.g., as a full-time research student)
- (4) Period spent as a full-time employee of a Japanese or foreign government-affiliated agricultural research institute or similar institution.
- (5) Period spent gaining other experience judged by the Graduate School Committee to be of equal or greater worth than the above categories.